



創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」特別編 大学生による市内事業所インタビュー
株式会社 大和ハウジング



株式会社大和ハウジング
 代表取締役社長
吉松 聡司さん

うきは市では、創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」の中で市内創業者・事業所の紹介をしています。
 昨年度に引き続き、広報うきはでも久留米大学生による取材記事を掲載します。
 うきは市の様々な産業の魅力をお届けします。

■ **トップインタビュー** ■

Q. 創業から現在に至るまでの御社の歴史と現在の事業内容を教えてください
 昭和22年に『吉松製材所』としてこの地で創業しました。当時、この辺りは製材業が盛んで、見渡せば相当数の製材所が軒を連ねていました。創業者である祖父は、製材業を縮小しながら、現在の基盤となる建築資材の卸売業を拡大して、屋号を『大和木材』とした後に『株式会社大和ハウジング』と名称を変更し、現在に至ります。木材・建材・住設機器・エクステリアなど、住まいに関わる商材は殆ど取り扱っています。

Q. 御社が誇れることやこだわりを教えてください
 住まいに関する問い合わせをワンストップで解決できることです。暮らしの中で出てくる大小様々な不便や不安や不快などの「不」の部分を解消することが私たちの使命です。弊社では、数多くのメーカーや地元の優良な工務店様や大工さんを知っておりますので、便利で安心して快適な住まいのご提案ができると思います。

Q. 会社として挑戦したい、伸ばしていきたいところはどこですか
 現在、全国どここの地域でも空き家問題を抱えています。うきは市内にも約1400戸の空き家があると言われ、その対策として、うきは市役所のブランド推進課で空き家バンクを開設しています。そこで、弊社としては、

関連会社の不動産部門と連携して、空き家をリノベーションし、新たに生活をされる方々に幸せな暮らしを提供していければと思います。

Q. 中小企業の強みはどこなところだと思いますか
 地域密着で、お互いに顔が見えるところだと思います。お客様との会話から要望をくみ取り、それにしっかりと応えて、信頼していただけるように努力しています。地域密着型なので、そこでの評判が次の仕事へとつながっていきます。

Q. 学生に伝えたいことはありますか
 若さでいろんなことにチャレンジして頂きたいです。失敗か成功かは別にして、行動することに意味があります。勇気ある一歩を踏み出せるか出せないかで見てくる景色は変わります。やって後悔することよりも、やらずに後悔することの方が絶対に多いと思います。

それと“聴く力”は、どのような仕事でも話す力以上に大切だと思うので、ぜひ“聴く力”を身に付けてがんばってください。

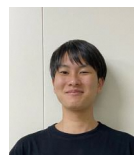
Q. うきは市の方に伝えたいことはありますか
 弊社は、「住まいのショールーム」を併設しております。カタログだけでは分からない最新のシステムキッチンやシステムバス、トイレなど、様々な商品を実際に見て触れることができますので、新築やリフォームをご検討の際には、ぜひともご来場お待ちいたしております。

★取材を終えて★

歴史のある会社で、お客様との信頼関係を大事にしているのだと思いました。また、時代とともに新しいことを取り入れ、挑戦する姿勢は私自身見習いたいと思いました。社長がおっしゃっていた「やって後悔することよりも、やらずに後悔することの方が多い」という言葉には感銘をうけました。残りの大学生活を有意義なものにしていきたいです。（杉野）

時代が常に変化している今、その時代に合わせて会社も変化する事で、地域とのつながりや地域のニーズを理解し大切にしている点や、それが貴社の企業理念にもつながっているところに感心いたしました。私もこの時代の変化に合わせて、常に新しい挑戦をしていきたいと改めて考えさせられました。（上野）

吉松社長が大切にされている「相手の立場に立つことで正しい答えが出る」という考えは、どの仕事にも通じることで、非常に印象的でした。時代の変化にも柔軟に対応されてきている大和ハウジングさんは、今後もうきは市に根付き続ける企業だと感じました。（船瀬）



久留米大学4年
杉野 慎弥



久留米大学4年
上野 右喬



久留米大学4年
船瀬 健矢

会社名 株式会社大和ハウジング
 所在地 うきは市吉井町若官 40-3
 電話 0943-76-5555
 F A X 0943-76-3607
 H P <https://yamato.ac/>

この記事に関する問い合わせ先
 うきはブランド推進課商工振興係
 TEL:0943-76-9095
 取材協力：筑後信用金庫

創業・移住支援ポータルサイト

うきはのはなし